

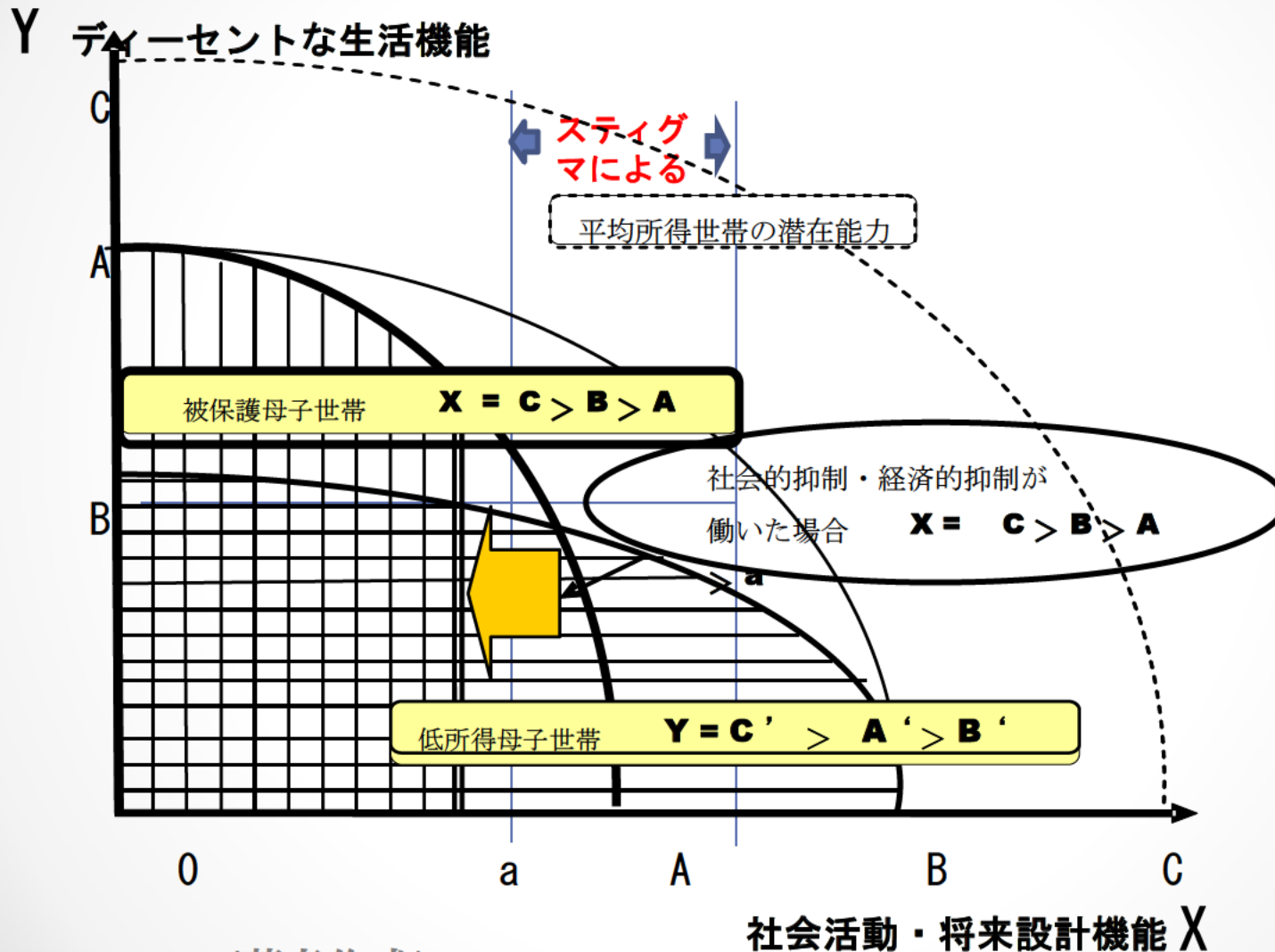
「子どもの貧困」の連鎖を断つ

2016(平成28)年9月21日

関西国際大学教育学部 道中 隆

※子どもの貧困対策調査特別委員会において使用した箇所を、参考資料として会議録に添付。

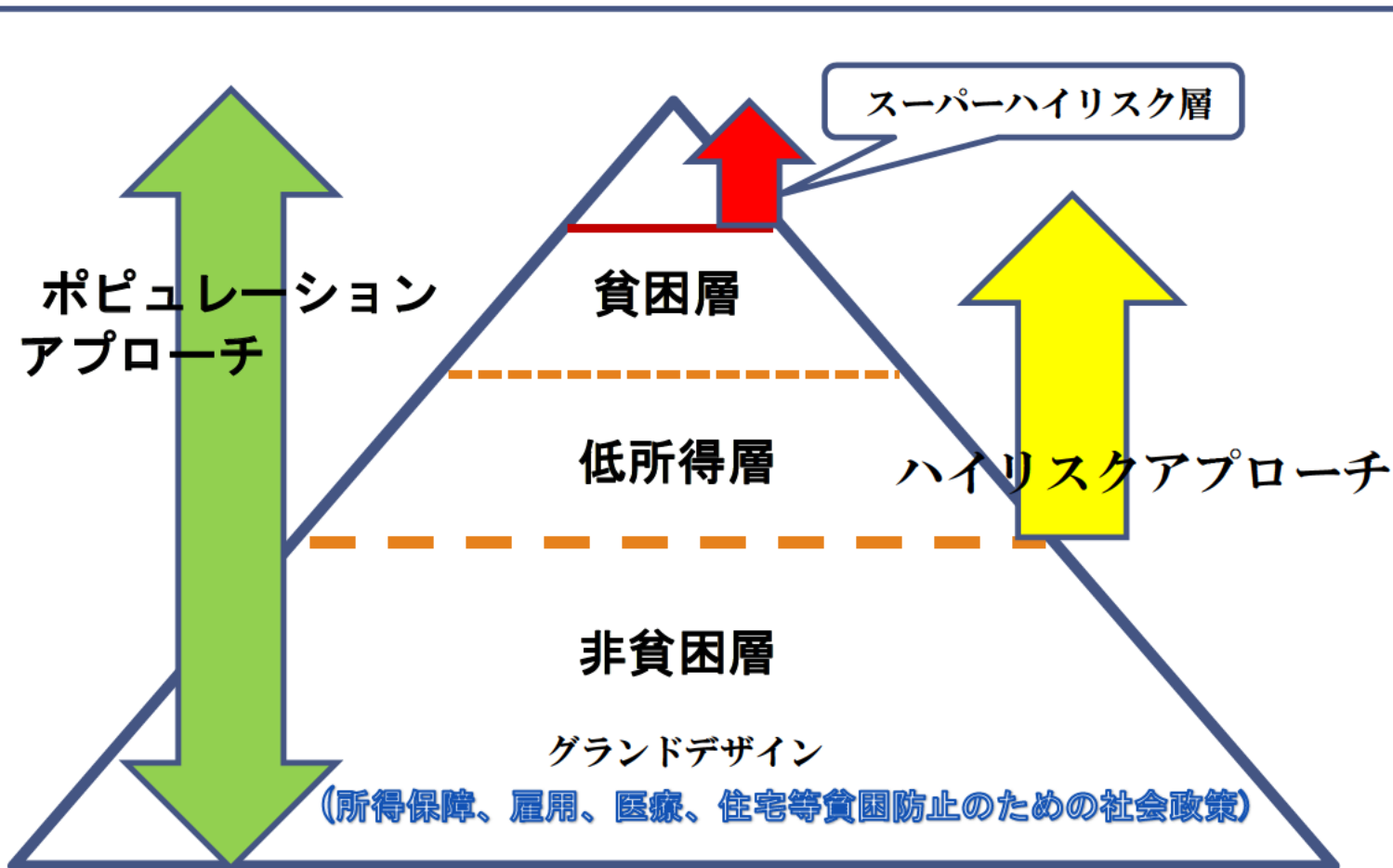
(2) 母子世帯の消費性向



(著者作成)

2 対象はどんな子ども?

(1) どんな子どもが対象



※公衆衛生、保健・医療領域で採用されている対象領域をとらえる場合の概念をモデル図として示した。

(2) 子どもの貧困対策に向けた教育の支援

【子どもの貧困対策ビジョン】

《**普遍的対策**》

《**選別的対策**》

ポピュレーションアプローチ



ハイリスクアプローチ
スーパーハイリスク

所得保障、税、雇用、医療、住宅
等貧困防止のための所得再分配に
よる社会政策

5歳からの義務教育、高校の義務教育
給付型奨学金の制度創設
最低賃金改定、雇用の正規化、社会
保険の加入要件の緩和、社会保険等
の負担軽減、賃金の男女間格差の是
正改善

貧困層の生活課題、貧困の世
代的連鎖の防ぐための積極的
な支援策の構築

学習支援、食事支援
給付型奨学金の制度創設
貧困状態にある子ども・子育て世
代に対する施策

緊急度・優先度の高いスーパー
ハイリスク層

4 貧困とアウトカムをつなぐ経路

【貧困問題】

低所得 情報の不足 社会ネットワークの欠如 文化 その他

経路

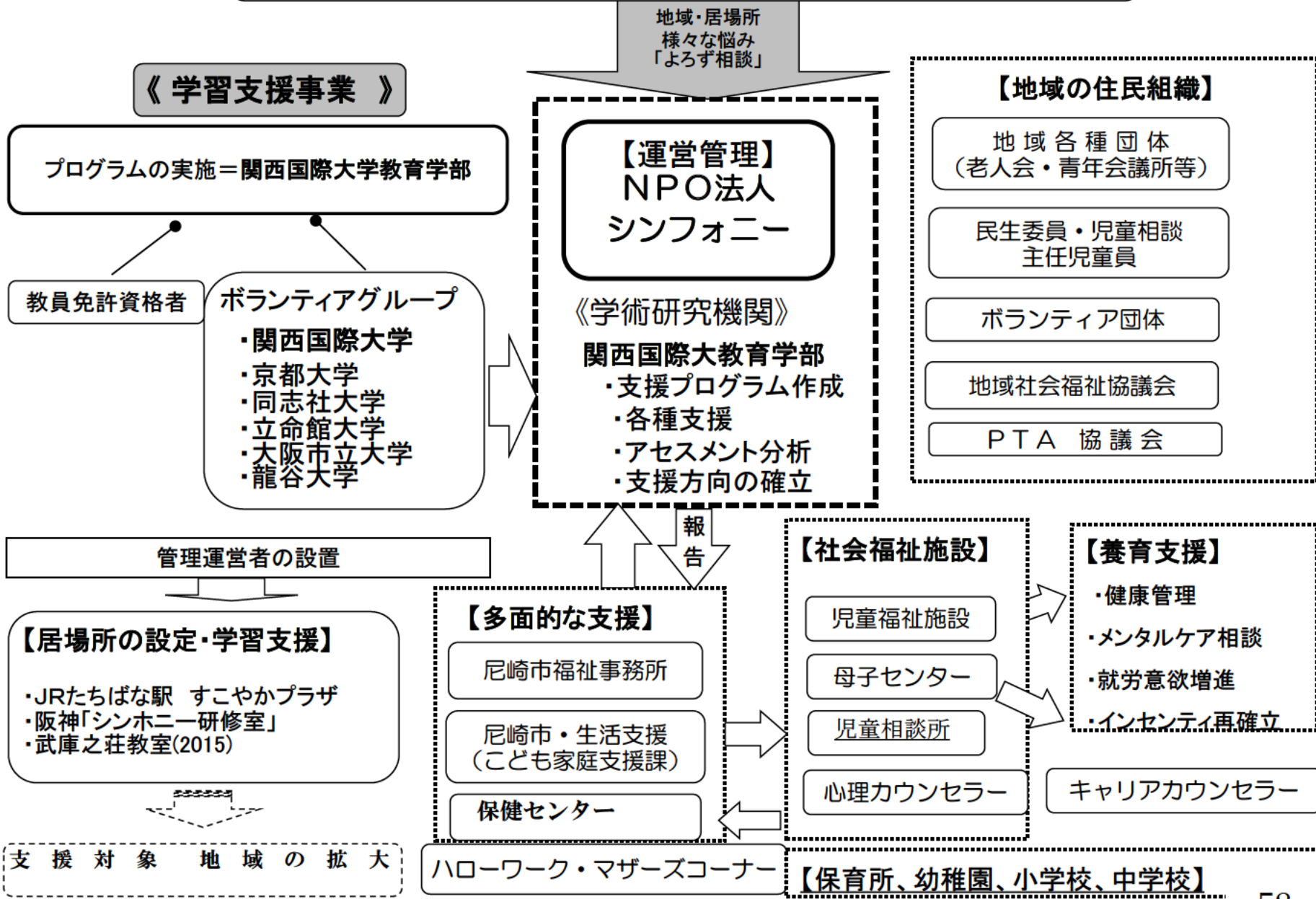
(Path)

要因	主な内容
栄養	低体重出産 栄養不足 鉄分不足
医療へのアクセス	発見の遅れ 治療の遅れ 予防欠如
家庭環境	乏しい刺激 ロールモデルの欠如
親のストレス	親のメンタルヘルス 家庭内不和 虐待・ネグレクト
学習資源の不足	教育費不足 親による勉強指導の不足
住居の問題	不十分な広さ 勉強場所の欠如 頻繁な転居
近隣地域	犯罪・暴力 劣悪な学校 公害 ロールモデルの欠如
意識	意欲の欠如、親の教育へのインセンティブ(無関心)、自己効力感欠如 コンピテンシーの未成熟性
親の就労状況	子育て時間の不足 保育の不足

アウトカム

アウトカム(健康、学力、所得、幸福度)

11 《尼崎市社会的な居場所づくり支援事業》



7 今後の課題

- イギリス、アメリカやカナダなど貧困世帯への包括的な支援を導入し、すでに評価システムの検証段階にある国が増えるなか、わが国は世代間の貧困連鎖防止に向けた政策の取り組みは十分でない
- 政策形成に必要な実態把握や基礎的なデータによる実証研究が遅れており研究蓄積がない。実証データに基づく政策



- マクロ研究による事実の把握とそれに基づく政策、支援プログラムの開発が求められる
- 子どもの成育環境を整備していくためにも、すべての子どもと家庭に最善の環境を保障することを目標とした、虐待等の不安定な家庭といった、劣悪な環境にいる子どもたちへのセーフティネットの確保、質の高いサービスを確実に保障する仕組みを導入する必要